不要不急の(南西部の) 大型開発は中止を

松村 和子 議員

ている。





県と連携し進めていく

世代産業の集積を県に要望してき

県と連携を密に取り組む。

優

につながる製造業を中心とした次

地域に雇用を生み、

産業振興

良企業が進出することで、

税収に

に向けた経費を計上している。 は、平成27年度予算で、用地取得 も寄与すると考えている。 公園のために必要な都市計画道路 農業大学校跡地の活用や運動



質問 運動公園第二期事業の内

学校跡地への工場誘致の実態は。 大型開発は中止すべきでは。 一税収と雇用を重視した農業大 残りの都市計画道路の予算は 後世につけを残す不要不急の

◎その他の質問

る国に向かう 除認定書の発行の拡大を 一 道徳の教科化で教育は戦争す 要介護者に対する障がい者控

を目指す。整備に当たっては、

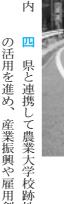
団

交流する魅力ある拠点づくり

答弁一(市長) 人々が集い、

憩

体からの要望を含めて検討を進め



進め、 生かし、職住接近のまちづくりを 出を図る。整備された居住空間を の活用を進め、産業振興や雇用創 県と連携して農業大学校跡地 活力に満ちたまちを創造し



内野

圏央鶴ヶ島インターチェンジ

3月18日・19日・20日の3日間行 われた一般質問の主な質問 (Q) と答弁(A)の概要を掲載します。





地方創生 の特性を生かし進めて の取り組みを ・地域力 **の**



つるゴン

質問 6次産業化による地域ブラン 地域PRの考え方は。

づくりにチャレンジする市内業者 用し、地域資源を生かして特産品

を資金面で支援する。

名度向上の取り組みを進めていく 各種団体と連携を取りながら、知 ャラクター「つるゴン」を活用し、 現在、サフランの特産化を進 合弁一(市長) 市のイメージキ 地域版総合戦略は。 地域力向上への取り組みは。

の利便性など、市の特性を生かし 居住空間、 の確保が重要である。整備された の創出や企業誘致による就業の場 子どもを産み育てやすい環境 取り組んで行く。 身近に残る自然や交通

績評価指標などの具体的な目標を 性は同じであるが、今後は重要業 リーディングプロジェクトと方向 施策をまとめるものである。 目標や施策の基本的方向、

た取り組みにつなげていく。 での他の質問

行政サービスについて 市民意識調査から見えてくる 道路舗装修繕事業について

具体的 市

ビジョンを踏まえ、今後5か年の

地方版総合戦略は、地方人口